

赤崎最終処分場 個別施設計画

令和3年2月

敦賀市市民生活部清掃センター

目次

1	策定の目的と位置付け	1
	（1）目的	1
	（2）本計画の位置付け	1
2	計画期間と対象施設	2
	（1）計画期間	2
	（2）対象施設	2,3
3	現状と課題	4
4	基本的な考え方.....	4
5	施設の状態	4
6	対策内容と費用.....	5
	（1）対策内容と実施時期	5
	（2）概算費用	5

1 策定の目的と位置付け

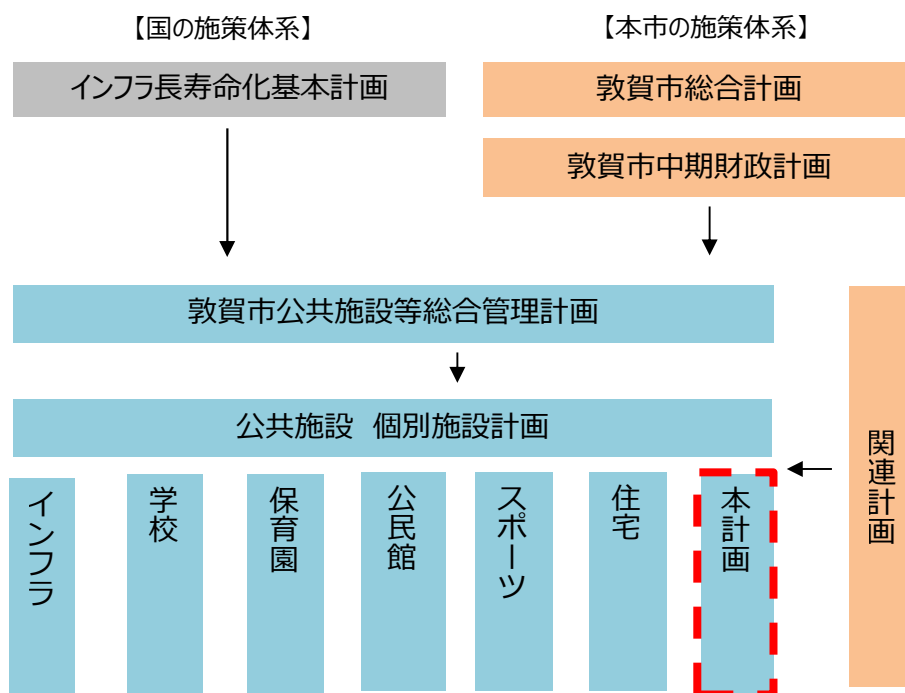
(1) 目的

本計画は、平成29(2017)年1月に策定された敦賀市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画として、赤崎最終処分場の管理に関する具体的な対応方針を述べることを目的としています。

(2) 本計画の位置付け

本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の下位計画となります。

図表1 本計画の位置付け



2 計画期間と対象施設

(1) 計画期間

本計画の計画期間は、令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間とします。

なお、本計画は、敦賀市公共施設等総合管理計画の改訂や社会環境等の変化等を踏まえ、適時見直しを行います。

(2) 対象施設

本計画の対象施設は、赤崎最終処分場（以下「同施設」という。）です。

なお、同施設は、敦賀市公共施設等総合管理計画において「供給処理施設」に区分されています。

施設名称	地区	運営形態	延床面積 (㎡)	代表建築 年度	経過年	耐用年数	残耐用 年数
赤崎最終処分場	東浦	直営	535	2006	14	38	24

ア 対象施設詳細概要

施設名称	赤崎最終処分場
施設所管	敦賀市清掃センター
所在地	敦賀市赤崎32号3番2
敷地面積	11,300㎡
埋立面積	6,150㎡
延床面積	534.9㎡
建設年度等	
工期	着工 平成17年9月30日 完成 平成19年3月30日
埋立開始	平成19年4月1日
設計・施工者	①埋立処分地：鹿島建設(株)、(株)塩浜工業、新保興業(株)JV ②浸出水処理施設：共和化工(株)、(株)塩浜工業 JV
建設費	1,905,750,000円
水処理方式	接触ばっ気法・凝集沈殿・凝集膜処理・ダイオキシン分解・ 活性炭吸着・キレート処理
処理能力	50m ³ /日
埋立方式	サンドイッチ方式・セル方式

イ 埋立量の年度推移

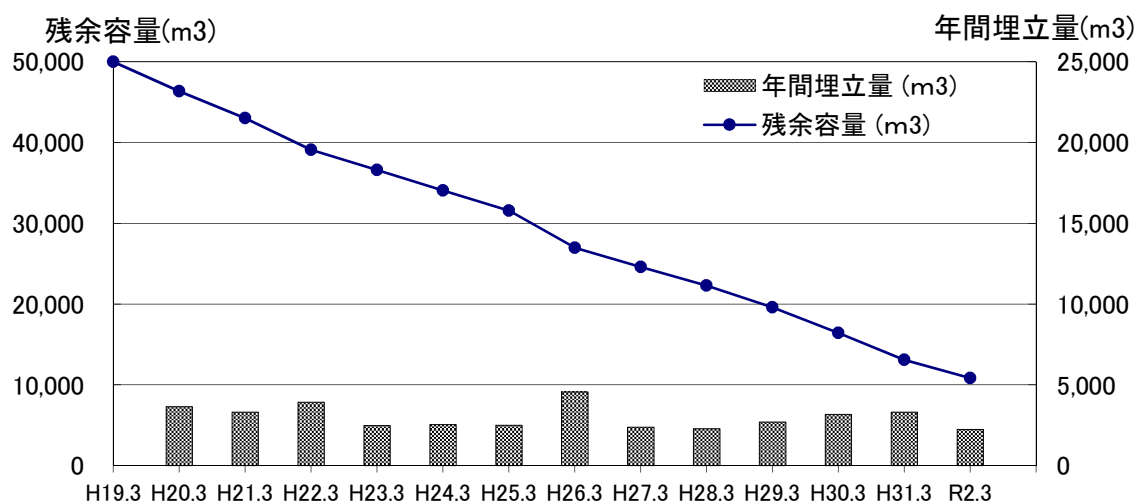
単位 (t)

年度	埋立ごみ	側溝汚泥	焼却残渣	固化ダスト	プラ減容物	焼却鉄	埋立処分物	覆土	合計
19	144.63	250.74	1,090.35	2,101.81	152.55	16.21	417.96	177.0	4,351.25
20	125.52	230.06	1,080.27	2,133.76	149.89	0.00	429.40	192.0	4,340.90
21	93.86	324.67	780.77	1,965.35	90.05	0.00	371.03	2,422.8	6,048.53
22	96.14	395.60	782.10	2,017.31	0.00	0.00	361.12	183.6	3,835.87
23	100.22	192.31	801.45	1,992.99	6.51	0.00	329.75	472.5	3,895.73
24	99.21	219.48	768.99	1,852.91	0.00	13.60	311.52	427.5	3,693.21
25	92.38	187.19	757.40	1,961.84	0.00	22.15	318.71	4,207.6	7,547.27
26	87.66	241.85	707.10	1,955.22	0.00	6.36	300.31	445.7	3,744.20
27	88.10	217.93	744.48	1,952.13	0.00	1.39	280.11	324.0	3,608.14
28	71.56	193.55	753.82	1,962.80	0.00	0.00	272.94	1,206.0	4,460.67
29	65.84	165.84	743.48	1,861.65	0.00	0.00	251.19	1,234.8	4,322.80
30	70.96	167.32	745.61	1,783.75	0.00	0.00	309.89	2,841.4	5,918.93
R1	58.26	164.95	779.67	1,750.66	0.00	0.00	292.49	633.6	3,679.63

ウ 残余容量の推移

測定年月	残余容量 (m ³)	年間埋立量 (m ³)
H19.3	50,000.0	(埋立前)
H20.3	46,353.7	3,646.3
H21.3	43,025.5	3,328.2
H22.3	39,095.2	3,930.3
H23.3	36,606.5	2,488.7
H24.3	34,064.4	2,542.1
H25.3	31,555.9	2,508.5
H26.3	26,981.2	4,574.7
H27.3	24,588.3	2,392.9
H28.3	22,295.6	2,292.7
H29.3	19,591.4	2,704.2
H30.3	16,420.0	3,171.4
H31.3	13,104.1	3,315.9
R2.3	10,852.2	2,251.9
年間平均埋立量		3,011.4

※届出埋立容量 50,000 m³



3 現状と課題

同施設は、市内全域のごみステーションから収集した埋立ごみや清掃センターでの焼却処理から出る焼却灰や焼却残渣等を埋立処分しています。また、埋立処分地に浸透した雨水等により埋立ごみは洗い出されますが、その浸出水を構内の浸出水処理施設（以下「建物」という。）内にて排出基準値以下になるよう処理した後に海へ放流しています。

また、建設から14年目であり比較的新しいことから、埋立処分や水処理に障害を与えるような要修繕箇所は無く、特段の課題はありません。

4 基本的な考え方

同施設は、埋立処分廃棄物の適切な貯留や自然界の代謝機能による廃棄物の分解・安定化、及び浸出水の無害化という重要な機能を有しており、次の新しい最終処分場の供用開始以降に廃止を目指します。

なお、廃止までの第1段階は、埋立終了後一定期間（最短2年間）において水質等の検査データを取得した後、法律（「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」）に基づき県知事申請を行い法的廃止を図ります。更に第2段階としては、浸出水の海への直接放流に関し、市民理解を得られるまで機能を維持した後に建物除去を図ります。

※既に法的廃止済みの旧櫛川最終処分場は、新清掃センター建設工事計画や浸出水の河川直接放流に関する市民理解を踏まえ建物除去を図ります。

5 施設の状態

同施設では、「敦賀市公共施設簡易点検マニュアル」に基づく目視点検を行っており、その結果は以下のとおりです。

図表3 簡易目視点検結果

施設名称	建築物	設備その他
赤崎最終処分場	建物外壁部 ・仕上げ材（モルタル、塗装等）に部分的な亀裂、浮き等有り ・枠周りの目地、シーリング材等にひび割れ有り	・異常なし

現在、施設運営に支障をきたす修繕箇所はありませんが、今後、日々の簡易目視点検により異常が発見された場合は、速やかに修繕を行います。

6 対策内容と費用

(1) 対策内容と実施時期

基本的な考え方や施設の状態を踏まえた、本計画期間（10年間）における具体的な対策内容と実施時期は次の図表のとおりです。

図表4 対策内容と実施時期

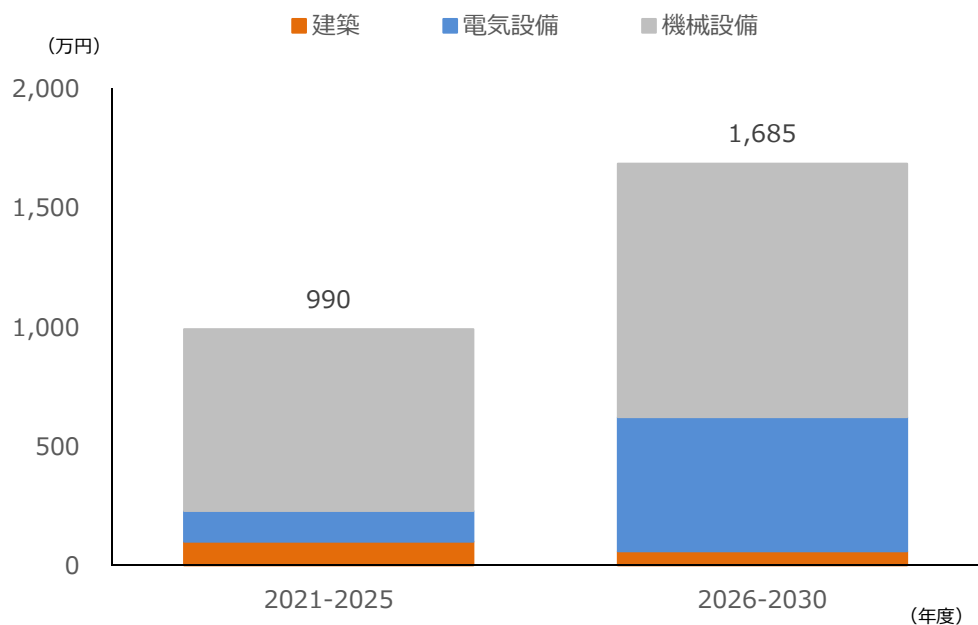
施設名称	方向性_機能	方向性_建物	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	検討段階
赤崎最終処分場	廃止	将来除去	埋立物受入れ		埋立終了施設除却に向けた水処理継続								決定

※受入期間及び埋立終了日は、同施設の残余容量により変更になることがあります。

(2) 概算費用

本計画期間中に要する概算費用（維持管理費用除く）は、耐用年数を超えた使用を見据えた場合、建築、電気設備、機械設備合わせて2,675万円を見込んでいます。ただし、この費用は今後の施設の状態等により変動します。

図表5 概算費用



※国土交通省官庁営繕部監修「建築物のライフサイクルコスト」の㎡単価に基づく試算。機械的な試算であり、「6 (1) 対策内容と実施時期」の内容とは連動していない。